

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

## 日本の株式市場

### 市場の動向

日本株式市場の代表的な指数である東証株価指数 (TOPIX)は、19日比で2.21%上昇しました。週初は、ギリシャの債務支援問題の進展が期待されたことに加え、国内企業の株式持ち合い解消などによる資本効率改善の動きが評価されたことなどから、日本株式市場は上昇しました。週末にかけては、中国株式市場の下落などによるリスク回避の動きや、利益確定売りなどを背景に下落に転じましたが、週間では上昇しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 7月1日 日銀短観(6月調査)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

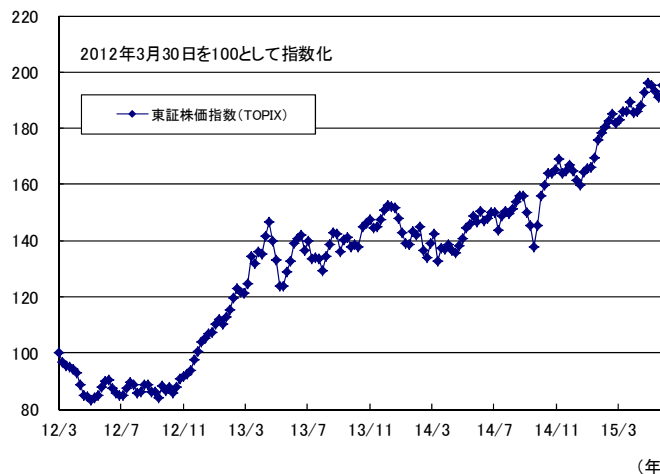
先週の騰落率

2.21%

先週の相場動向



<期間>2012年3月30日～2015年6月26日



東証株価指数 (TOPIX)	2015/6/19	2015/6/26	騰落率
	1,631.01	1,667.03	2.21%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証株価指数 (TOPIX) の指数値及び TOPIX の商標は、株式会社東京証券取引所 (以下「東証」といいます。) の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利及び TOPIX の商標に関するすべての権利は東証が有します。

## 世界の株式市場

### 市場の動向

海外株式市場全体の動きを表す代表的な指数である MSCI-KOKUSAI 指数は、19日比円ベースで、0.98% 上昇しました。

米国株式市場 (現地通貨ベース) は、ギリシャ債務支援合意への期待や、米大手企業の M&A (合併・買収) の報道などを受けて上昇して始まりました。しかしその後は、ギリシャと債権者側との交渉が再び難航したことや、米大手半導体企業の業績予想が市場予想を下回ったことなどから、下落に転じ、週間では下落しました。

欧州株式市場 (現地通貨ベース) は、ギリシャが新たな財政改革案を提示したことで支援合意への期待が高まり、上昇して始まりました。その後、交渉の難航で上昇幅を縮小しましたが、週間では上昇しました。

アジア (日本を除く) オセアニア株式市場 (現地通貨ベース) は、中国追加金融緩和への期待後退や、豪企業の業績予想の下方修正などが重石となり、下落しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 30日 ユーロ圏失業率(5月)
- 7月1日 米ISM (サプライマネジメント協会) 製造業景況感指数(6月)
- 2日 米雇用統計(6月)
- 3日 ユーロ圏小売売上高(5月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

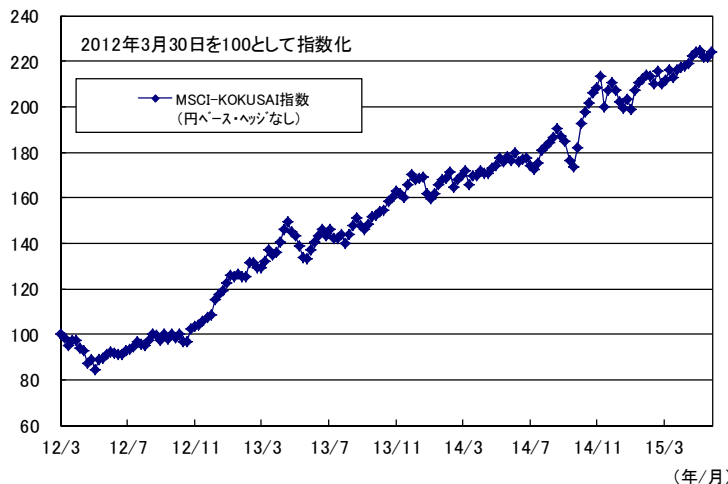
先週の騰落率

0.98%

先週の相場動向



<期間>2012年3月30日～2015年6月26日



MSCI-KOKUSAI 指数 (円ベース・ヘッジなし)	2015/6/19	2015/6/26	騰落率
	2,695.39	2,721.93	0.98%
円/ドル	122.76円	123.96円	0.97%
円/ユーロ	139.07円	138.09円	-0.71%

<指数出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

MSCI-KOKUSAI 指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

## 日本の債券市場

### 市場の動向

日本の債券市場動向を表す代表的な指標であるNOMURA-BPI総合は、19日比で0.27%下落しました。  
日本債券市場は、ギリシャ債務支援交渉の進展を受けて、世界経済の先行きに楽観的な見方が広がったことなどを背景に下落しました。2年債入札が、投資家の購入意欲の低さを示す結果となったことなどをを受けて、日本債券市場は下落幅を拡大し、週間でも下落しました。  
長期金利の指標となる10年国債利回りは、19日比で上昇(価格は下落)し、0.47%となりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 29日 鉱工業生産指数(5月)
- 7月1日 日銀短観(6月調査)

など

	2015/6/19	2015/6/26	変化幅
日本10年国債利回り*	0.42%	0.47%	0.05%

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

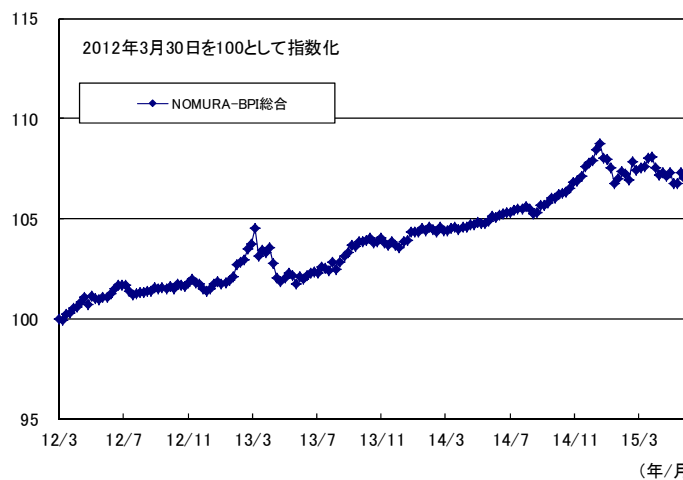
騰落率がマイナスの場合: 😞

-0.27%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間>2012年3月30日～2015年6月26日



NOMURA-BPI総合	2015/6/19	2015/6/26	騰落率
	362.90	361.93	-0.27%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しております。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

## 世界の債券市場

### 市場の動向

世界債券市場の動きを示す代表的な指数であるシティ世界国債インデックスは、19日比円ベースで、0.53%下落しました。  
米国債券市場(現地通貨ベース)は、5月の新築住宅販売件数など、発表されたいくつかの経済指標が市場予想を上回ったことなどを背景として、債券利回りは上昇(価格は下落)しました。  
欧州債券市場(現地通貨ベース)では、ギリシャと債権者側との救済協議が合意に至るとの期待が一時的に高まったことなどを背景として、ドイツ国債利回りは上昇しました。  
為替は、19日比で円/ドルレートは円安・ドル高、円/ユーロレートは円高・ユーロ安となりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 30日 ユーロ圏CPI(消費者物価指数、6月)
- 7月1日 米ISM製造業景況感指数(6月)
- 1日 米建設支出(5月)
- 2日 米雇用統計(6月)
- 3日 ユーロ圏小売売上高(5月)

など

	2015/6/19	2015/6/26	変化幅
米国10年国債利回り*	2.26%	2.47%	0.21%
ドイツ10年国債利回り*	0.75%	0.92%	0.17%

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

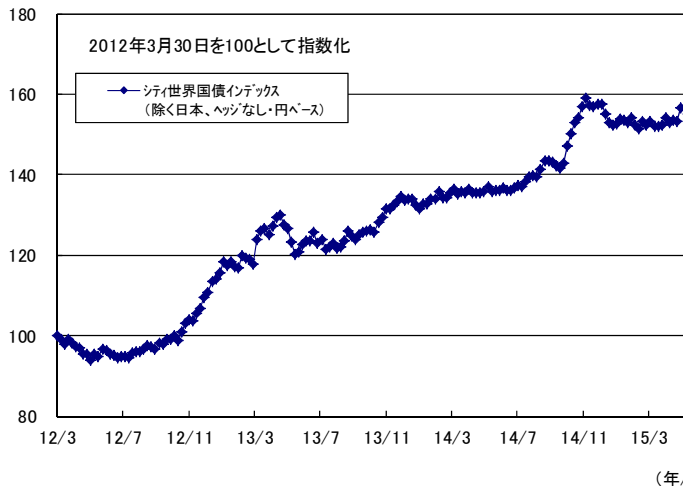
騰落率がマイナスの場合: 😞

-0.53%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間>2012年3月30日～2015年6月26日



シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2015/6/19	2015/6/26	騰落率
	474.43	471.91	-0.53%
円/ドル	122.76円	123.96円	0.97%
円/ユーロ	139.07円	138.09円	-0.71%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMOロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関する全ての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。 ・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

## J-REIT市場

### 市場の動向

J-REIT市場(東証REIT指数(配当込み))は、19日比で0.96%上昇しました。国内株式市場が上昇したことなどが背景にあります。

東京カンテイが発表した中古マンション価格推移によると、5月の首都圏中古マンション価格(70㎡あたり)は、前月比+1.0%の2,998万円となり、9か月連続で上昇しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 29日 鉱工業生産指数(5月)
- 7月1日 日銀短観(6月調査)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

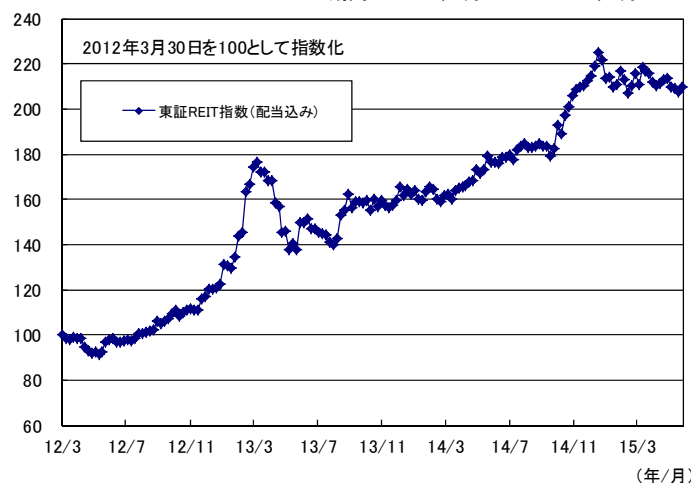
騰落率がマイナスの場合: 😞

0.96%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間>2012年3月30日～2015年6月26日



東証REIT指数(配当込み)	2015/6/19	2015/6/26	騰落率
	3,169.33	3,199.70	0.96%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は東証が有します。

## 世界のREIT市場

### 市場の動向

世界REIT市場(S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み))は、19日比円ベースで、0.86%下落しました。

米国REIT市場(現地通貨ベース)は、米10年国債利回りが上昇したことなどが背景となり、下落しました。

欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、6月のユーロ圏総合PMI(購買担当者景気指数)が4年ぶりの高水準となったことや、ギリシャの金融支援を巡る協議が進展するとの期待を背景に上昇しました。

豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、一部投資家の買いが入ったことなどから、上昇しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 30日 ユーロ圏CPI(6月)
- 7月1日 米ISM製造業景況感指数(6月)
- 1日 米建設支出(5月)
- 2日 米雇用統計(6月)
- 3日 ユーロ圏小売売上高(5月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

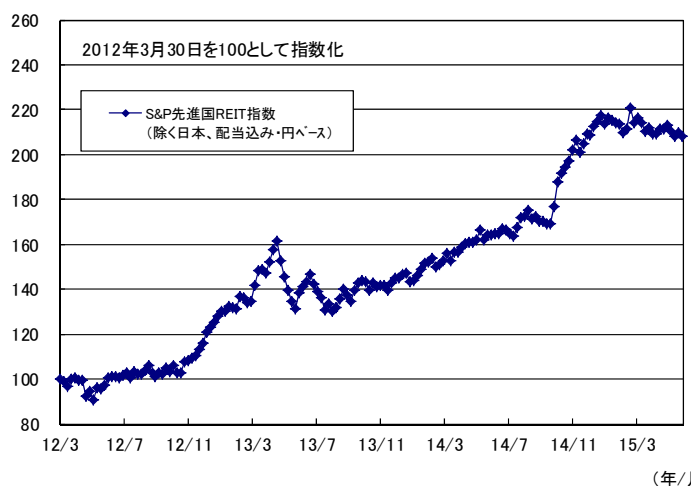
騰落率がマイナスの場合: 😞

-0.86%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間>2012年3月30日～2015年6月26日



S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み・円ベース)	2015/6/19	2015/6/26	騰落率
	909.23	901.39	-0.86%
円/ドル	122.76円	123.96円	0.97%
円/ユーロ	139.07円	138.09円	-0.71%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシーの所有する登録商標です。



・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

## 新興国の株式市場

### 市場の動向

新興国株式市場全体の動きを表す代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、19日比円で1.83%上昇しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、6月のHSBC製造業PMI(速報値)が市場予想を上回ったことなどから上昇してはじまりました。その後、中国人民銀行(中央銀行)が2カ月ぶりに資金供給オペを実施し、追加金融緩和への期待が後退したことなどから下落し、週間ではほぼ横ばいとなりました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、ウクライナ情勢に対する警戒感が高まったことなどから下落しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、ブラジル中央銀行が、インフレ目標の上限を引き下げたことなどから上昇しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 30日 南アフリカ貿易収支(5月)
- 7月1日 中国HSBC製造業PMI(6月、確報値)
- 2日 ブラジル鉱工業生産指数(5月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

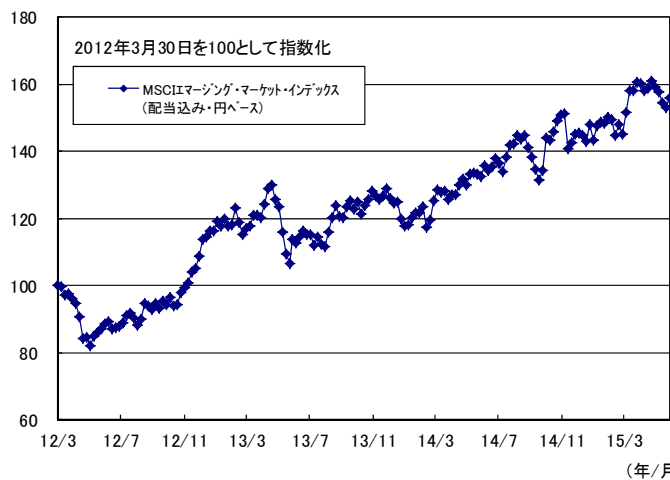
騰落率がマイナスの場合: 😞

1.83%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2012年3月30日～2015年6月26日



<出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 新興国の債券市場

### 市場の動向

新興国債券市場全体の動きを示す代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドは、19日比円で、0.47%上昇しました。

トルコでは、トルコ中央銀行が市場予想通り、主要政策金利の据え置きを決定しました。同中銀は、インフレ率は食品価格の調整などを通じ、低下するとしたものの、慎重な金融政策を維持することが求められているとの認識を示しました。このような環境の中、同国の債券指数は上昇しました。

メキシコでは、4月の小売売上高が市場予想を下回り、前年同月比では、今年に入り最も低い伸びとなりました。また、4月の経済活動指数も市場予想を下回りました。経済の回復が予想より緩やかなペースでしか進んでいないことを受け、同国の債券指数は下落しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 30日 トルコ貿易収支(5月)
- 7月1日 中国HSBC製造業PMI(6月、確報値)
- 1日 インドネシアCPI(6月)
- 3日 トルコCPI(6月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

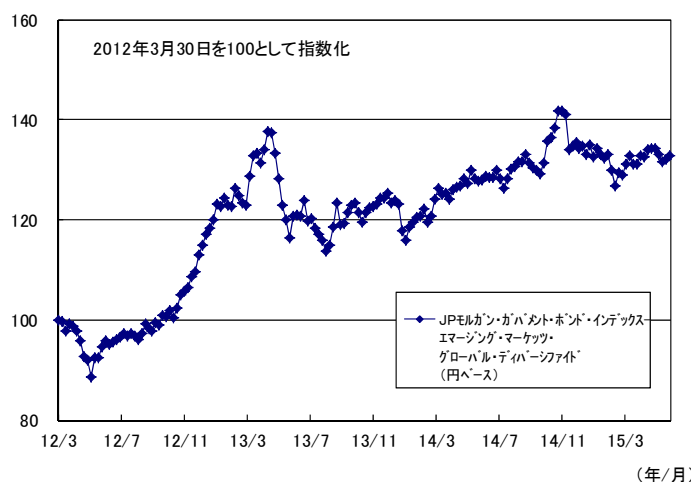
騰落率がマイナスの場合: 😞

0.47%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2012年3月30日～2015年6月26日



<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets Global Diversified) は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

## 【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## ■投資信託に係る費用について

2015年6月現在

ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会